



## 宇部市まちなか環境学習館 「銀天エコプラザ」の役割と経緯

- ・ 目的:  
 学習室(自習室)の運営、  
 環境学習の振興、環境関連団体の交流  
 宇部市環境学習ポータルサイト、環境情報提供  
 まちなかの活性化
- ・ 経緯:  
 2011年2月～2011年7月 検討準備期間  
 指定管理者として NP0法人うべ環境コミュニ  
 ティーが選定され、4年8ヶ月間の運営を請け負う。  
 2011年8月開館～2016年3月

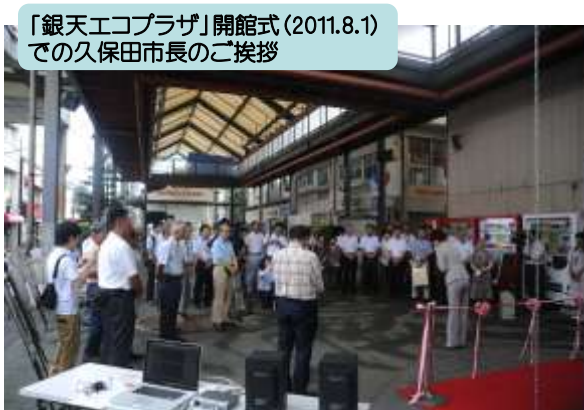
## 宇部市まちなか環境学習館 「銀天エコプラザ」施設概要

- ・ 1階: 受付、事務室
- ・ 2階: ミーティングルーム小(20m<sup>2</sup>) 定員12名
- ・ 3階: ミーティングルーム大(60m<sup>2</sup>) 定員30名
- ・ 4階: 学習室(60m<sup>2</sup>) 定員20名
  - ・ 環境に関する図書等が閲覧できます。
  - ・ 蔵書数500冊以上(現在729冊、うち環境関係316冊)
- ・ 小会議室・大会議室は有料貸室、学習室は無料



まちなか環境学習館「銀天エコプラザ」の開館式(2011.8.1)

エコハちゃんも映っています。



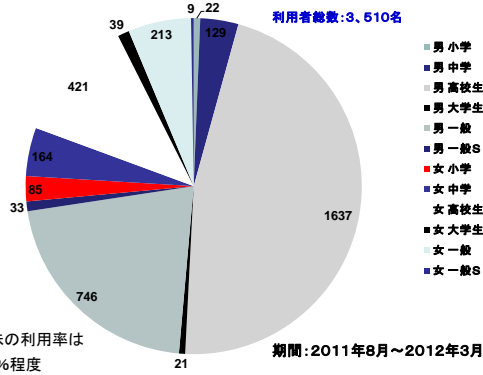
「銀天エコプラザ」開館式(2011.8.1)での久保田市長のご挨拶

宇部市まちなか環境学習館  
「銀天エコプラザ」西側窓



学習室の利用

2011年度学習室利用者数の内訳



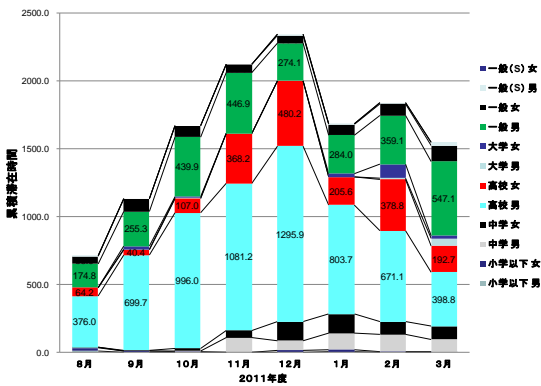
学習室の利用

2011年度学習室登録者数の内訳

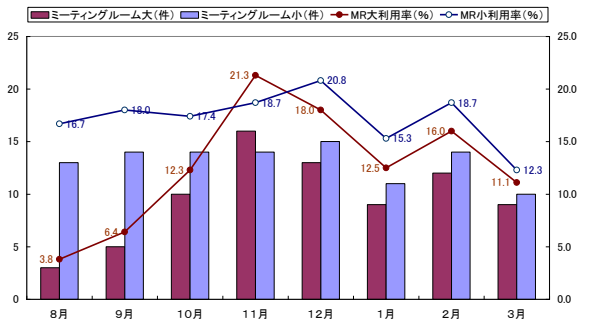


グラフ4

学習室利用者の月別滞在時間の推移



ミーティングルーム利用回数と利用率



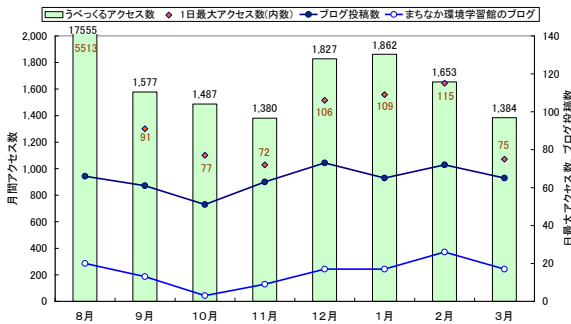
月刊誌「銀天エコプラザ通信」の発行

600部、100箇所程度配布



宇都市の環境学習の総合サイトです。イベントの情報などいろいろなお知らせを掲載しています。まちなか環境学習館、ときわミュージアム、アウトビレッジおのの3拠点や環境関連団体の活動をイベント案内、ブログなどで紹介しています。

宇部市環境学習ポータルサイト「うべっくる」のアクセス数とブログ数



<http://ubekuru.com/> で時々訪ねてみて下さい。

## 主な行事(自主事業)

- ・ 環境サロン(20人程度の環境問題勉強会、毎月1,2回  
2,3テーマ程度同時進行、新規加入を期待)  
夜だけでなく、昼間の開催も検討中です。
- ・ まちなかエコ市場 (年4回、フリーマーケット、エコ  
ステージ、まちなか活性化、学習館支持者増、  
環境関連団体の親睦・新規加入を期待)
- ・ エコフェア、うべまつり等各种イベントへの参加

## 環境サロンの実績と予定

- ・ 「水と食べ物の大切さ」9回シリーズ  
2011年8月から2011年12月
- ・ 「3.11以後の暮らしと環境問題」9回シリーズ  
2011年8月から2012年3月
- ・ 「自転車のまちづくり」7回シリーズ  
2012年2月から2012年6月
- ・ 「世代間の対話～混迷の時代をどう生きる」  
6回シリーズ 2012年4月から2012年9月
- ・ 「ごみと化学物質」9回シリーズ  
2012年5月から2012年9月

資料代として、毎回300円いただいています。成果は広く発信していま  
\*

## まちなかエコ市場の実績と予定

- ・ 第1回まちなかエコ市場 2011年9月3日
  - ・ 第2回まちなかエコ市場 2011年12月11日
  - ・ 第3回まちなかエコ市場 2012年3月11日
  - ・ 第4回まちなかエコ市場 2012年5月12日
- 年4回、銀天エコプラザ前中央街区公園にて開催。

自転車のまちづくり、中山間とまちなか交流、ものづくりに  
力を入れて、まちなか活性化を目指します。

環境サロン「3.11以後の暮らしと環境問題」の第1回  
(2011.8.18) 弘中秀治さんにお話をいただきました。



環境サロン「水と食べ物の大切さ」の第8回  
(2011.11.24) マレーシアの青年達も参加しまし  
た。



知の地産地消を目指し、専門家の意見も聴きなが  
ら、環境問題について、一緒に考えてみませんか。



## 課題

- ・ 環境活動への新規の加入がなかなかむずかしい。
- ・ 一般に、環境関連団体では、若手の参加が少なく、世代交代がむずかしいところが多い。
- ・ 若い人への広報、呼びかけが、従来の手段ではうまくいかない。
- ・ 環境サロンへの小中学校の先生方の参加がほしい。  
県教委、市教委や市校長会などの協力が必要。
- ・ まちなかエコ市場への来客数が十分ではない。
- ・ 周りに駐車スペースがなく、有料になるので、利用者が不便。来客者用の最小限の駐車スペースの確保と、自転車のまちづくり、公共交通利用に力を入れる必要がある。

## 対策

- ・ 環境サロンの充実  
環境関連団体や環境学習指導者の協力も得て、多様なテーマで頻度を上げる
- ・ 人材強化・サポーターの募集  
志立市民大学と連携、公募など
- ・ 広報活動の強化・ポータルサイトの活用  
内容の充実・更新、ブログの充実、イベント情報の充実、双方向機能追加

## 対策（つづき）

- ・ 自転車のまちづくりをまちの活性化に結びつける。（エコ通勤事業所、アンカウベこまちと連携）
- ・ まちなかエコ市場を魅力あるものとして定着させる。との両過疎化地域の連携（歌や踊りの発表の場、中山間小野地区等からの軽トラ野菜市、地元商店街の人達との連携）

環境サロンに参加するなど、一度ぜひ学習館を訪ねて下さい。みなさまのご支援をお願いいたします！